



せきまえ防災

関前防災会キャラクター
「せきまえ」

第8号の発行にあたり

10月23日(日)9:00~11:45まで、令和4年度武蔵野市総合防災訓練が行われました。

総合防災訓練というのは、大地震が発生したことを想定し、市及び防災関係機関並びに市民等が取るべき防災活動を実践し、防災対策の習熟と防災関係機関相互の協力連携体制の確立を図ることを目的として、毎年実施されている市をあげての防災訓練で、今年に関前南小学校が会場に選ばれました。

関前地区で行われる総合防災訓練ということでもあり、関前防災会も市の防災課と打ち合わせを重ね、当日は発災から避難所開設までの流れを訓練として実施させて頂きました。

当日、参加できなかった皆さんにも、この総合防災訓練の規模と防災訓練の大切さを伝えることができればと思い、「総合防災訓練特集号」としてまとめてみました。

今回の訓練でも、実際に必要な手順をやることで気づくことがたくさんありました。避難所では多くの人手が必要となります。また一人一人の落ち着いた行動が減災に繋がります。備蓄と同じように日頃より訓練を重ね、この地域の被害者を一人でも多く減らせるように協力して参りましょう。

令和四年度、武蔵野市総合防災訓練 メイン会場(関前南小学校)

本訓練は10月23日に既に終了しておりますのでお間違え無く

今回の訓練では発災後1時間程経過し、一時避難所となる関前南小学校の運動場に避難者が集まりつつあるというシチュエーションで、9時を回った頃から避難所開設訓練を実施しました。

本紙の第1号でもお伝えしているように、避難所開設は発災後3時間程度を目途に行うわけですが、訓練ということで一部を省略しながら手順を確認するという形で行われました。



裏面に各訓練の様子を掲載